## 災害救急医療委員会　本間　太郎

　当委員会の主な目的は、大規模災害において救命活動に参加する事と、救命率向上のため初期救命救急処置を啓発する事にある。前者には地震・津波など広域災害発生に備え豊中市と「災害時の医療救護に関する協定」を締結している。また、東南海地震を想定した災害時の情報伝達の方法（伝言ダイヤルの徹底や SNS の導入）などを検討している。新型インフルエンザ等感染症発生時の対応として、パンデミック期における医療体制を豊中市と協議を行っている。また大阪国際空港での航空機事故対策訓練に参加し、他の医療機関・消防との間で情報の共有と伝達（特にアクションカードに従った対応）に重点を置き訓練活動を行った。後者には医師会会員、豊中市学校職員、および一般市民を対象にＡＥＤを用いた心肺蘇生法講習会を開催した。